

「外国人移住者受入政策としての、言語教育・新規入国者への生活ガイダンスなどの実施状況」について

1 『2012年6月 自治体国際化フォーラム』中の特集『海外における在住外国人の言語学習制度～7各国の言語学習制度比較一覧表』の最新状況

(回答) 国や北京市人民政府などのホームページで一覧表の項目を検索したが該当する情報にあらず、貴市が希望する情報を得ることは困難と史料。

検索項目	中国(主に北京市)	備考
公的な学習制度の有無	不明	※
制度の財政負担者		
個人負担の有無		
運営主体		
言語学習レベルの設定		
標準的な勉強時間		
市民教育オリエンテーション		
講師としての要件・資格の有無		
子どもの学校編入準備コースの提供		
子どもの補修校の有無		
民間団体、企業、ボランティアの役割		
外国人学校への財政的支援の有無	無	
外国人学校で義務教育を受けることが可能か	不可能	

※ 研究者などハイレベル人材への語学研修事例、外国人が多く在住する社区(コミュニティ)における外国人への語学研修事例などのインターネット記事は確認できたが、詳細情報の入手は困難。

2 新規入国者に対する生活ガイダンス

(回答) 上記1と同じ

検索項目	中国(主に北京市)	備考
公的な制度の有無	不明	
制度の財政負担者		
実施主体		
ガイダンス項目		
ガイダンス資料		

(参考) 北京市人民政府はホームページで北京市在住の外国人向けに暮らしの情報(多言語・日本語あり)を提供している。

[北京市人民政府 \(beijing.gov.cn\)](http://beijing.gov.cn)

【問合せ先】

自治体国際化協会北京事務所 堀池(兵庫県派遣)
TEL +86-10-6513-8791
E-mail horiike@clair.org.cn